



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R4年5月
編集者 坂口 洋一
No. 59

えっ!!まさか!! 緑公にかモシカ!!

5月2日、午前11時頃

わが会員の、信子さん妙子さんのお散歩コンビが、緑ヶ丘公園の陸橋に近づくゆるい坂を登っていました。

ちょうど山つつじが満開。よく見ようと山際に近づくと、何か動くものに気が付きました。送電線の鉄塔のすぐ下です。えっ?犬?

犬にしては優しい目をしていました。体も大きい。ヤギかな?

二人は不思議に思い、じっと目を凝らしました。

向こうの動物もまたこちらを見ています。妙子さんが急いでスマホのカメラを向けますがまだ逃げません。優しい黒い目でじっと二人を見つめていたそうです。左右の耳の間に短い角も見えます。

もしかしてカモシカじゃない?こんな街の中の公園にいるはずもないカモシカが居たのです。

五分ほどして、カモシカはゆっくと展望台の方に登っていき木陰に消えていったそうです。牛のようなお尻をしていたと妙子さんの言。

きっと、カモシカも珍しい人間がいるなど思っただけでした。

後日知ったのですが、この日より何日か前、西田町でも目撃されたそうです。同じ個体かも知れません。車にでも轢かれなるといいですね。



それでも、まさかと思う方比べてください。南会津 前沢曲家集落で撮られたカモシカです。



顔面アップ
鉄塔の左下
(佐藤妙子さん撮影)



♪ 白い花が咲いてたあ。♪

早いもので、1年の半分に近づこうとしています。

藤の花が終わり、野山には白い花が目立ち、緑が美しく一年間で最も良い季節です。

連日、コロナ感染者が何人増えたの減ったのと報道されていますが、慣れのせいか気にならなくなってきたような気がします。

アホな指導者のせいで、今頃になって大騒ぎしている国もあります。

ヨモギの葉をいぶし、塩水としょうがと・・・でコロナと立ち向かうとか。国民が可哀そうです。

今年もさつま芋を!

22日、小雨降る中、子供たちの笑顔を思い浮かべ、さつま芋の苗を植えました。

きらくな畑では、じゃが芋の花が咲き始め、ダリヤの芽も顔を出し日々変化しています。会員達の精進が実を結んでいます。

散歩の途中、ベンチに腰を下ろし、向かいの山あいの景色とともに、ゆっくりと眺めてみてください。



ミサイル・核実験に使う金があれば、何とかできるのでしように。
ロシアでも隣の指導者に輪をかけたバカが、一向に戦争をやめよとしていません。
戦争をいくらかでも経験している我々高齢者だからこそ、その悲惨さを身近に感じる事ができます。
一日も早い平和な日々を願わずにはられません。